

## 歴史(江戸時代④・貿易編)

徳川家康は、日本の商船であることを証明する①\_\_\_\_\_を与えて、海外への渡航を許可し、貿易を盛んにしようとした。これを②\_\_\_\_\_貿易という。これにともなって、多くの日本人が海外へ移住し、東南アジアの各地には③\_\_\_\_\_ができた。また、新しく来航したオランダやイギリスからの貿易の願いも許し、この2つの国は④\_\_\_\_\_に商館を設けて、貿易が始まった。

1609年、対馬藩(長崎県)の努力で、日本と朝鮮の国交が回復し、将軍の代わりごとなどに、⑤\_\_\_\_\_が日本に派遣され、国書を持参した。また、蝦夷地(北海道)に住んでいたアイヌ民族は、松前藩と不公正な取り引きを強いられていた。そのため、17世紀後半、首長の⑥\_\_\_\_\_を中心に立ち上がるが、鎮圧されてしまう。